

# すべてを出し切る！最後の総体

7月9・10日、16・17日にかけて、海草地方中学校総合体育大会が開催されました。3年生にとっては最後の大会です。まずは、各競技の結果を報告します。

## バレー部 やい切った3位！

予選リーグ2試合目は春に敗れた三中と対戦。前半の劣勢から、全員で懸命にボールをつなぎファイナルデュースまでもつれる大接戦を制しました。2日目の決勝トーナメントは前日の勢いそのままに異中を破り、準決勝は県大会を賭けて亀川中と決戦。1セット目は取られ2セット目を取り返しファイナルセットに。リードを許しては追いつき一進一退。最後まで諦めず食い下がりましたが一歩及びませんでした。試合を重ねる毎に自然と体が反応するようにうまくなっていく姿に感動です。こんなに声を出して、燃えて、喜び合って、すべてを出し切った戦いは見事でした。



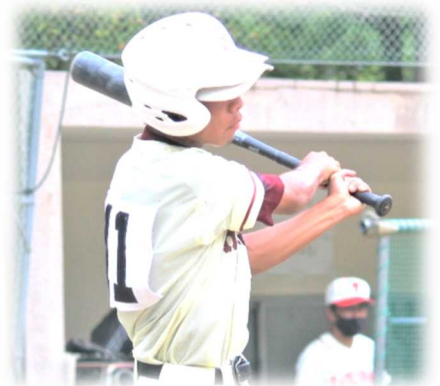
## ソフトテニス部 男子団体2位！



団体戦、男子は難敵の美里中を、準決勝は春に敗れた異中を共に接戦で下し決勝進出。相手は秋に決勝で敗れた下津二中です。エースの仲・尾田ペアが勝ち、3番勝負まで持ち込みましたが雪辱ならず。でも準優勝は立派。県大会に出場します。女子は3年生3人と1年生3人で初めて3ペア揃って団体戦出場しました。下津一中、三中と対戦し、3年生が1勝ずつあげましたがいずれも惜敗。2日目は個人戦。男子1年生が2ペアとも1回戦を勝つなど好スタートを切りました。上位進出を目指した3年生は、藤田・前田ペア(写真左)がベスト8で県大会出場を決めましたが、他のペアはまさかの敗退となりました。女子は、ベスト8を目指した尾前・山崎ペアが、下津一中とファイナルデュースの大接戦の末あと1点が取れず敗れましたが、すべてを出し切り、悔いはないと言える最後の大会でした。

## 野球部 貫禄のV！

野球はコロナの影響で出場辞退のチームがあり3チームで開催。初戦の野上中戦は、清水君のフェンス遙か上を越える3ランホームランが飛び出し5-0で勝利。決勝の異・三中戦は10-0のコールドゲームで圧倒して優勝。控え選手も出場しヒットを打つなど大活躍でした。野球部の視線は来週の県大会に向いています。目指すは近畿大会。「一番長くこのチームで野球をしたい」という想いを胸に、最後の夏はまだまだ続きます。



## バスケット部 来年こそは

男子は三中、巽中と対戦。二試合とも敗れましたが、最後まで懸命にボールを追いました。ドリブルといい、シュートといい確実に春よりも力強くなっています。女子は巽中、三中に負け、2日目の下津一中戦は、終了間際ゴールを決めれば逆転勝利という場面がありましたが、わずか1点及びませんでした。男女共3年生がいない2年生主体のチーム。来年、「最後の大会」に賭ける想いは、今年とはまったく違うでしょう。今後の成長が楽しみです。



## 陸上部 女子総合3位!

陸上もコロナの影響により他校で出場辞退の選手がある中で、東海南は全員出場できました。結果、西岡君が3000mで1位、堂山さんが四種競技で1位、1年生800mで口井さんが1位、1年生100mで堂浦さんが1位、2年生100mで溝端さんが3位など、県大会に出場を決めました。釜中君は砲丸投げで見事自己ベストを更新です。女子低学年リレーは出場チームが1チームしかない中で確実にバトンをつなぎ1位。県大会での勝負が楽しみです。そして、女子が4人しかいない東海南ですが、総合で3位に入賞しました。



3年生は入学時の臨時休校の影響で部活の入部も遅れ、夏休みは短縮で練習もあまりできず、度々活動制限があった中、よく頑張ってきました。1年生の頃の自分を思い出してください。努力を継続することでどれだけ成長できたことでしょうか。これまで、どれだけの時間を部活にかけてきたか。結果に関係なく、そこで得た成長と経験は全員に共通する宝物です。

6月23日に生徒総会がありました。まず、生徒会執行部から今年のスローガン「普段を誇れる学校～毎日の積み重ねを大切に～」が発表され、専門委員会の活動報告やクラス発表がありました。キリッとした雰囲気の中議事は進み、「学校への要望」では我々職員も答弁に立ちました。「地域のゴミ拾いなど、地域との交流の場を増やしたい」という嬉しい要望もありました。そして、校則に関することでは「カラーやパーマを除いて、髪型を自由にしてほしい」について、生徒指導の井邊先生から「どの髪型が良くてどの髪型が悪いというものではなく、『誰が見ても、奇抜ではなく不快感を与えない髪型』を自分で判断できるように」と回答がありました。校則についてもう一つ「靴や靴下の色を黒も許可してほしい」について私が答弁しました。訴えの理由は「白いと汚れが目立ち洗濯が大変だから」という親思いの考え。「式などは白で統一する」などの案もつけました。私からは、まず意識調査として「黒を許可してほしい」「白でいい」「どちらでもいい」のいずれかに挙手してもらいました。結果は、ほぼ1/3ずつ。総意でもないようです。そして、三中や巽中は、今年の生徒総会で黒の靴下を許可したことを伝えて、「他の学校が許可されたから」という考えはまったくくないこと、まだ学校全体の議論になっていないことを挙げて、これまで通り「靴下も靴の色もトータルで東海南の制服」として現状維持と回答しました。校則を変えるには「今よりも学校をよくするために」を基本に全員で議論することが必要でしょう。最後の自由討議では「東海南 言葉遣い良化計画」として、学年を越えて討議し「礼儀を大切にすること」で落ち着きました。

## 髪型は？靴下の色は？ 生徒総会

6月23日に生徒総会がありました。まず、生徒会執行部から今年のスローガン「普段を誇れる学校～毎日の積み重ねを大切に～」が発表され、専門委員会の活動報告やクラス発表がありました。キリッとした雰囲気の中議事は進み、「学校への要望」では我々職員も答弁に立ちました。「地域のゴミ拾いなど、地域との交流の場を増やしたい」という嬉しい要望もありました。そして、校則に関することでは「カラーやパーマを除いて、髪型を自由にしてほしい」について、生徒指導の井邊先生から「どの髪型が良くてどの髪型が悪いというものではなく、『誰が見ても、奇抜ではなく不快感を与えない髪型』を自分で判断できるように」と回答がありました。校則についてもう一つ「靴や靴下の色を黒も許可してほしい」について私が答弁しました。訴えの理由は「白いと汚れが目立ち洗濯が大変だから」という親思いの考え。「式などは白で統一する」などの案もつけました。私からは、まず意識調査として「黒を許可してほしい」「白でいい」「どちらでもいい」のいずれかに挙手してもらいました。結果は、ほぼ1/3ずつ。総意でもないようです。そして、三中や巽中は、今年の生徒総会で黒の靴下を許可したことを伝えて、「他の学校が許可されたから」という考えはまったくくないこと、まだ学校全体の議論になっていないことを挙げて、これまで通り「靴下も靴の色もトータルで東海南の制服」として現状維持と回答しました。校則を変えるには「今よりも学校をよくするために」を基本に全員で議論することが必要でしょう。最後の自由討議では「東海南 言葉遣い良化計画」として、学年を越えて討議し「礼儀を大切にすること」で落ち着きました。



の髪型が良くてどの髪型が悪いというものではなく、『誰が見ても、奇抜ではなく不快感を与えない髪型』を自分で判断できるように」と回答がありました。校則についてもう一つ「靴や靴下の色を黒も許可してほしい」について私が答弁しました。訴えの理由は「白いと汚れが目立ち洗濯が大変だから」という親思いの考え。「式などは白で統一する」などの案もつけました。私からは、まず意識調査として「黒を許可してほしい」「白でいい」「どちらでもいい」のいずれかに挙手してもらいました。結果は、ほぼ1/3ずつ。総意でもないようです。そして、三中や巽中は、今年の生徒総会で黒の靴下を許可したことを伝えて、「他の学校が許可されたから」という考えはまったくくないこと、まだ学校全体の議論になっていないことを挙げて、これまで通り「靴下も靴の色もトータルで東海南の制服」として現状維持と回答しました。校則を変えるには「今よりも学校をよくするために」を基本に全員で議論することが必要でしょう。最後の自由討議では「東海南 言葉遣い良化計画」として、学年を越えて討議し「礼儀を大切にすること」で落ち着きました。